

## (2) 施策の方針

### 第6章 活力ある暮らしやすいまち

#### 分野(1) 産業振興

## 施策の方針② 商工業振興の充実

### <目標とすべきまちの姿>

中小企業をはじめとする事業者が事業を継続するための支援として、経営アドバイザーの派遣や経営革新への取組に対する助成が行われ、産業が活性化しています。

また、商店街は、高齢者も利用しやすい、地域の特性を生かした商店街となり、活性化しています。

鎌倉彫の保護・育成を目的とした活動の支援や協同組合との連携による伝統工芸品の技術伝承の支援などにより、伝統工芸が伝承されています。また、事業者や組合と協働した伝統工芸の販路確保等により、売上が向上しています。

## 1 事業評価結果一覧表

### 市民活動部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
市民-04	商工運営事業	42,482	44,011	0.2	b	B
市民-05	中小企業支援事業	514,996	522,641	1.0	b	B
市民-06	商工会議所助成事業	14,667	15,431	0.1	b	B
市民-07	商店街振興事業	13,167	20,047	0.9	b	B
市民-08	商工業振興事業	43,226	47,048	0.5	b	B
市民-09	公衆浴場助成事業	776	1,540	0.1	b	C
市民-10	伝統鎌倉彫振興事業	1,573	2,337	0.1	b	B

## 2 平成26年度末の目標

### 市民活動部

3市1組合(神奈川県競輪組合・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市)共催川崎競輪事業撤退に係る和解について、川崎市と和解契約を締結し、解決一時金を支払う。  
鎌倉商工会議所と協力して、第2回かまくらプレミアム商品券を完売する。

## 3 平成26年度の取組の評価

### 市民活動部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

3市1組合共催川崎競輪事業は、川崎市と和解契約を締結、解決一時金を支払うとともに、今後撤退に係る債権債務が存在しないことを相互に確認した。  
第2回かまくらプレミアム商品券は、広報かまくら・ホームページなどを活用して周知を行った結果、発売後3週間で完売した。

## 4 今後の方向性

### 市民活動部

製造業や新規成長産業(医療福祉関連、生活文化関連、情報通信関連、新製造技術関連、環境関連など)の企業が事業展開しやすい環境の整備に努める。さらに企業立地促進に資する新たな施策について検討する。経営相談や融資制度の充実、受注機会の拡大を図ることで、中小企業の創業、経営安定、経営革新を支援する。商店街が「物販・サービスの場」「憩いと楽しみの場」「まちの顔」「地域コミュニティの核」となるよう、地域の特性を生かした商店街づくりを支援する。

## 5 平成27年度末の目標

### 市民活動部

商工業の持続的な発展と活力あるまちの創出を図るため、商工業者や商店街団体等が、事業展開しやすい環境の整備を図る。安全・安心の商店街づくりに向けて、夜間の通行の安全性を高め、防犯に寄与する商店街街路灯について、その維持管理を支援するため、LED化を推進する。

## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 1 評価できるところ

- ・姉妹都市との物産展での交流や、中小企業・商店街・商工会などに支援を行ない、市内の商工業を活性化させようという取り組みは、地域の活性化にも繋がり、まちづくりの方向からも意義があることだと感じる。
- ・専門家の助言を必要とする商店街に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行うなど、ニーズに基づいた事業を実施している。
- ・評価結果を受け、評価指標を見直すなど、外部からの意見にも対応している。
- ・交流サイトを開設するだけでなく、登録事業者を増やす等、その後の運営についても考慮しており、課題としてきちんと捉えている。

### 2 課題・提言

- ・助成・支援について、単に経済的な形だけでなく、アドバイザーの助言や他都市との交流などを通して、各事業者が発展していくようサポートしていく方法を色々な形でたくさん試してほしいと思う。
- ・各事業において、指標が「設定されていない」「設定されているが、効果を計るには不相当」等が見受けられるため、各事業の「意図」や「効果」が明確に測れる指標を設定してほしい。
- ・様々な助成を行っているが、助成の結果、どのような効果があったのかを測定する必要がある。
- ・交流サイトの開設、運営についても活用状況を把握し、より実用性を高めるべく改修を測る様な、PDCA活動も行ってほしい。
- ・「目標とすべきまちの姿」として掲げている「地域の特性を生かした商店街」とは各々どの様な商店街であり、また「高齢者も利用しやすい商店街」とはどういった商店街なのか、具体的にした上で、実現に向けた取り組みを行ってほしい。
- ・鎌倉彫については、なぜ「保護」や「育成」をしなければならないのか。本来鎌倉彫は産業として成り立っていたはずである。産業として成り立てば、当然後継者も現れるはずであり、まず何故産業として成り立たなくなったのかを検証すべきではないか。